

免疫不全者における播種性感染症の微生物学的検討

1. 研究の対象

2008年4月～2023年12月までで当院で血液培養検査あるいはその他の培養検査にて治療対象となる細菌、真菌、抗酸菌が検出された患者様で免疫不全と考えられる状態の方。

2. 研究目的・方法

免疫不全者においては通常局所に留まることの多い感染症が全身へと広がるいわゆる播種性感染症を起こすことがあります。この播種性感染症を臨床的、微生物学的側面から検討し、免疫不全者における最大の副作用ともいえる感染症対策についての一助とすることを目指します。

方法

当院の電子カルテデータより2008年4月～2023年12月に血液培養またはその他の検体から、細菌、真菌、抗酸菌が検出された患者さんの病歴、治療歴、既往歴、カルテ番号などを抽出し解析を行います。また、臨床検体として保存されている微生物の菌株については遺伝子検査をもちいて、病原性に関連する遺伝子などを調べます。

研究実施期間は倫理委員会承認日～2025年3月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

研究に用いる試料：2008年4月～2023年12月に受けた生物学的検査（喀痰や尿、血液培養など）により得られた微生物

研究に用いる情報：電子カルテ上の病歴、治療歴、既往歴、カルテ番号

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮

TEL：088-866-5811

研究責任者

高知大学医学部 臨床感染症学講座

助教 荒川 悠